



酒田市 令和3年度当初予算（案）の概要

～「賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田」を目指して～

令和3年2月15日
総務部財政課作成

I 予算規模（一般会計）

予算規模 557億3,000万円（前年度575億円）

対前年度増減額／増減率 △17億7,000万円／△3.1%

令和2年度に次いで
過去2番目の予算規模！

《予算編成方針 重点施策》

- ① 「新たな日常」への転換を見据えた経済・社会の再生
- ② 「日本一女性が働きやすいまち」の実現
- ③ 市民に優しいデジタル変革の推進



II 主な新規・拡充等事業

※【】の①～③は上記の重点施策を示す

- ◆【新規】酒田商業高校跡地整備事業 603,135千円
旧酒田商業高校校舎の解体を行うとともに跡地活用の事業者を募集する。
- ◆【新規③】デジタル変革事業 78,071千円
デジタル変革戦略に基づき総合的にデジタル変革(DX)を推進する。令和3年度は市民サービス・地域のDX調査業務委託などを実施する。
- ◆【新規】飛鳥地区ポケットパーク整備事業 48,560千円
飛鳥地区の住宅火災延焼防止のため、住宅が連なっている地域の空き家を除却し、跡地をポケットパークとして整備する。
- ◆【新規】市民協働・公益活動推進事業 12,487千円
多様化する地域課題の解決を目指し、公益活動団体と市が協働し市民主体の公益活動を支援する。
- ◆【拡充】コミュニティ振興事業 165,971千円(前年度当初147,700千円)
コミュニティ振興会の活動に対するひとづくり・まちづくり総合交付金。大沢地区と田沢地区が配置する集落支援員に対して加算分を新設。
- ◆【統合】青少年交流推進事業 8,103千円
児童交流の翼(八幡)、松山青少年国内外交流事業、平田っ子交流会、「少年の翼」交流事業、中学生海外派遣事業「はばたき」(令和3年度休止)を地域創生部交流観光課に移管し一本化する。
- ◆【拡充②】女性活躍推進事業 7,188千円(前年度当初1,000千円)
「日本一女性が働きやすいまち」を目指し、女性活躍推進法による行動計画を作成した事業所へ奨励金を交付する。
- ◆【拡充①】各種予防接種事業 218,313千円(前年度当初205,831千円)
予防接種法に基づく各種予防接種及び季節性インフルエンザ予防接種に対する一部助成(①生後6ヶ月から18歳まで②妊婦③19歳から60歳未満の基礎疾患を有する方)を継続。
- ◆【新規①③】新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 36,982千円
市民に新型コロナウイルスワクチンの接種を行うため、その体制整備を行う。(令和2年度～継続費設定)
- ◆【新規①】酒田型土づくり特別対策事業 9,000千円
米の需要減少による米価下落に打ち勝つために、米づくりの基本となる土づくりを支援する。
- ◆【拡充③】スマート農業推進事業 9,238千円(前年度当初7,065千円)
土壌分析やドローンなどを活用した水田の健康診断などを実施する。農業用ドローン及び無人ヘリコプターのオペレーター養成に対して助成する。
- ◆【新規①】新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業 221,134千円
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的な影響を受けた中小事業者が金融機関から受けた融資に対し、利子補給及び信用保証料補給を行う。
- ◆【新規】新築住宅総合支援事業 13,259千円
酒田産材を使用した新築住宅、昭和56年以前に建築された空き家の解体工事に対して支援を行う。
- ◆【新規①③】GIGAスクール推進事業 36,786千円
令和2年度に整備した無線ネットワーク環境や児童生徒1人に1台配置するGIGAスクール用端末を活用して、理解度に応じて個別最適化された学習を行い、学力向上を目指す。
- ◆【新規】国体記念体育館改修事業 72,090千円
国体記念体育館の長寿命化を図る大規模改修を行うための設計を行う。



III 主な歳入の状況（一般会計）

※ 百万円単位で記載

市税

128億600万円
 対前年度増減額 △6億4,300万円
 対前年度比 △4.8%

- ◆個人市民税 42億3,600万円(△3.8%)
- ◆法人市民税 8億4,700万円(△26.1%)
- ◆固定資産税 58億3,600万円(△2.9%)
- ◆市たばこ税 6億2,400万円(+2.5%)
- ◆都市計画税 8億1,200万円(△2.9%)

地方交付税

135億4,000万円
 対前年度増減額 △3億500万円
 対前年度比 △2.2%

- ◆普通交付税 122億9,000万円(△2.4%)
- ◆特別交付税 12億5,000万円(0.0%)



その他

293億8,400万円
 対前年度増減額 △8億2,200万円
 対前年度比 △2.7%

- ◆国庫支出金 68億7,600万円(△14.6%)
- ◆県支出金 38億2,600万円(△8.2%)
- ◆市債 55億9,600万円(△7.4%)

IV 主な歳出の状況（一般会計）

※ 性質別に百万円単位で記載

義務的経費

249億3,800万円
 対前年度増減額 +5億300万円
 対前年度比 +2.1%

- ◆人件費 77億4,500万円(△0.9%)
 - ・職員給 45億4,200万円(0.0%)
 - ・退職手当 5億6,800万円(△14.3%)
- ◆扶助費 95億5,400万円(+3.5%)
 - ・保育所等入所扶助費 32億1,200万円(+3.3%)
 - ・生活保護医療扶助費 7億6,800万円(+13.7%)
 - ・児童扶養手当扶助費 3億5,700万円(△8.7%)
- ◆公債費 76億3,900万円(+3.4%)

投資的経費

51億2,400万円
 対前年度増減額 △31億4,900万円
 対前年度比 △38.1%

- ◆酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業 6億1,400万円
- ◆駅周辺整備事業 14億8,900万円
- ◆酒田商業高校跡地整備事業 5億9,700万円
- ◆消防庁舎及び総合防災センター整備事業 6億1,600万円

その他の経費

256億6,800万円
 対前年度増減額 +8億7,600万円
 対前年度比 +3.5%

- ◆物件費 69億2,400万円(+6.3%)
- ◆補助費等 100億2,900万円(+6.0%)
- ◆積立金 6億1,700万円(△12.0%)
- ◆貸付金 26億7,900万円(△4.4%)
- ◆繰出金 45億7,500万円(+2.7%)

V 市債残高の状況・主な基金の残高見込み（一般会計）

※ 百万円単位で記載

《令和3年度末市債残高（見込み）》

591億4,500万円
 (対前年度末見込 △17億3,600万円/△2.9%)

※地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構からの返済分を除く
 481億7,600万円(対前年度末見込 △14億2,100万円/△2.9%)

参考 一 合併特例事業債活用状況

- ◆発行可能額 329億2,900万円
- ◆令和2年度末までの借入見込額 316億200万円
- ◆令和3年度借入見込額 3億5,800万円
- ◆令和3年度末発行可能残見込額 9億6,900万円

《令和3年度末基金残高（見込み）》

- 財政調整基金 20億6,600万円(対前年度末見込 △7億9,900万円/△27.9%)
- 市債管理基金 7億1,400万円(対前年度末見込 △3億8,500万円/△35.0%)
- 地域づくり基金 24億1,200万円(対前年度末見込 △4億8,500万円/△16.7%)
- さかた応援基金 3億4,600万円(対前年度末見込 △2億300万円/△37.0%)

